



サンゴ礁： 危機的状況にある湿地

色とりどりの生命あふれるサンゴ礁は、よく「海の熱帯雨林」と呼ばれ、私たちに魅了します。サンゴ礁は、全海洋生物種の4分の1が生息する特別なタイプの湿地で、熱帯の海岸周辺で暮らす5億人近くの人々に、安定した食糧の供給、海岸線の保護、旅行業による収入などの恩恵を直接もたらしています。

サンゴ礁は人間や自然の圧力にさらされ、大変困難な状況に陥っています。地球上のサンゴ礁の75%が危機的状況にあり、10%はすでに回復不可能なほどに破壊されています。一方で、サンゴ礁の減少や劣化を遅らせたり、止めたり、元に戻したりする方法について、参考になりそうな成功例もいくつかあります。



サンゴ礁とは何か？

硬く、波に負けないサンゴ礁の一部は、イソギンチャクの仲間のサンゴポリプという、無脊椎の小さな生物の生きたコロニー（群落）でできています。サンゴポリプは炭酸カルシウムを生成・排泄することで、硬い外骨格構造を作り、それが何世代も繰り返されるとサンゴ礁が形成されます。生きているサンゴ群集は、自分たちの祖先のサンゴ質の死体のまさにその上を、薄い膜のように覆って生きているのです。

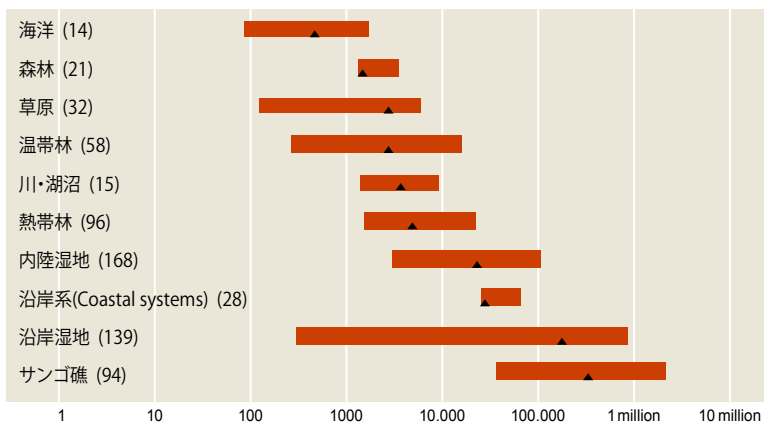
ひとつひとつのポリプの組織の中には、

(一般に褐虫藻と呼ばれる)微小藻類の集団が棲んでいます。このポリプと藻類は驚くべき共生関係で結ばれていて、藻類は自身の光合成のためにポリプの排泄物と二酸化炭素を取り込んで、酸素と有機物を生成し、ポリプがそれらを炭酸カルシウムに変えます。

サンゴ礁は一般に、熱帯や亜熱帯の、サンゴポリプとそれに付随するサンゴ礁生物に適した、次のような条件が得られる場所に見られます。

- 藻類の光合成が可能となるよう光が届く浅く透明な海
 - 温暖な海水温
 - 適度な塩分濃度と酸性度を持つ海水
- 東南アジアと太平洋には、全世界のサンゴ礁の70%が分布しています。現在、サンゴ礁やサンゴ群集を含むラムサール条約登録湿地は、およそ277か所あります。

各バイオームにおける一連の生態系サービスの金銭的価値総計の範囲と平均 (2007年、単位：国際ドル/ヘクタール 購買力平価調整済み)



カッコ内の数は、各バイオームの金銭的価値について発表された論文の総数。三角印は値の範囲の平均。

R. de Groot他 (2012)より引用



巨万の富に匹敵する 人類への恩恵

- 世界の主要バイオーム10タイプから得られるサービスの金銭的価値を比較した2012年の調査では、サンゴ礁の推計価値は1ヘクタールあたり年間50万米ドルで、トップの座を占めました。ベリーズという国だけをとっても、2007年のサンゴ礁に関わる旅行業の収入は、1億5000万～1億9600万米ドルに上ると推計されています。インド洋と太平洋の管理の行き届いたサンゴ礁では、1平方キロメートルあたり年間3～5トンの水産物が得られます。

深刻なプレッシャー

生きた硬いサンゴ礁に覆われている地域は、1980年から2004年にかけて38%も減少したと推定されています。人間活動がサンゴ礁に直接もたらす脅威には次のようなものがあります。

- 浚渫や干拓などの物理的損傷
- 乱獲や破壊的漁業

- 沿岸汚染、栄養素の流入と富栄養化
- 土地利用の変化や浸食による土砂の堆積
- 侵略的外来種の分布拡大

これらと並行して、人間活動がもたらす温室効果ガスの増加と気候変動により、以下のことが起きています。

- 主に熱ストレスによって褐虫藻が減少したことによるサンゴの白化現象
- 二酸化炭素濃度の上昇により海洋が酸性化したことによる炭酸カルシウムの溶解加速。

有望な対応策

健全で強い回復力を持つサンゴ礁を増やすための全体的なアプローチとしては、以下のようなものが考えられます。

- 生態系の鍵となる生物の増殖を最大化するために、採取禁止区域を設定する
- 陸上での活動の管理や、生物の主要な移動経路となる生息地の保全を含めて、サンゴ礁周辺の人間活動をゾーニングする
- 産卵期や特定の産卵場所における漁業と採取を禁止する
- サンゴ礁を利用する地元住民やその他の関係者に管理活動への参加を促す

この他に、より大きなスケールで有効な活動として以下のようなものがあります。

- さまざまな物質の流入や汚染、二酸化炭素排出を抑えるための陸上活動の管理
- 情報システムと統合的監視プログラム
- 広い海洋保護区の設置

効果的な対策の 実例



ケニア クルウィツ海洋サンクチュアリ

- 2003年、ケニアの東海岸にあるクルウィツ、ヴィンゴの漁師たちは、魚の数と大きさが減少し、今まで通りの生活が成り立たなくなっていることに気が付きました。そこで地元の土地所有者たちと一緒に、クルウィツ保全福祉協会(KCWA)を設立し、30ヘクタールの保護区を禁漁にしました。それ以来この地域では、サンゴと魚の状況が回復し、保護区の外側でも漁獲が向上し、サンゴ礁生態系の再生をぜひ見たいとこの地を訪れる人々も増えました。

キューバ ハルディネス・デ・ラ・レイナ国立公園

- ハルディネス・デ・ラ・レイナはキューバ中南部海岸の沖に120キロメートルわたって延びる列島で、661個のキー(サンゴ礁の上にできた小さく標高の低い島)で構成されています。1996年、このうちの約970平方キロメートルが、カリブ海最大級の海洋保護区に指定されました。商業漁業は厳しく制限され、この地はダイビングやスポーツフィッシングに適した高級リゾートとして売り出されました。国立公園に指定されて以来、ここには生態系の鍵を握る10種の大型魚が数多く生息するようになりました。

写真提供

ページ 1: Izoneguy, Dreamstime

ページ 2: Serge Andreouet/フランス開発研究所 (IRD)

本文書に表明されている見解や名称は執筆者によるものであり、ラムサール条約や条約事務局の公式の見解を表すものではない。教育または非営利の目的での、本文書の全体あるいは一部の複製は、いかなるかたちでも、引用元を明示すれば著作権保有者の特別な許可なく作成して構わない。条約事務局は、本文書を引用した印刷物や資料の送付を歓迎する。特に記載のない限り、本文書はクリエイティブコモンズの表示・非商用・改変禁止ライセンスによって保護されている。

ラムサールファクトシートは、ラムサール条約事務局より電子フォーマットおよび必要に応じて印刷物として、英語、フランス語、スペイン語(ラムサール条約の3つの公式言語)で公開されています。

ラムサールファクトシートは次のサイトからダウンロードできます：
www.ramsar.org/resources

科学技術検討委員会(STRP)に関する情報は次のサイトで見ることができます：
www.ramsar.org/about/the-scientific-technical-review-panel

ラムサールファクトシートに関するさらなる情報や、ファクトシートの執筆者と連絡を取る方法を知りたい場合は、ラムサール条約事務局(stp@ramsar.org)までお問合せください。

© 2015 ラムサール条約事務局

ラムサール条約



一般にラムサール条約として知られる「国際的に重要な湿地に関する条約」は地球規模の政府間条約で、湿地と湿地資源の保全と賢明な利用のための国内行動と国際協力の枠組みを提供するものです。単一の生態系に焦点を当てている唯一の地球規模の条約です。





ラムサール条約ってどんな条約？

一般に「ラムサール条約」として知られる「国際的に重要な湿地に関する条約」は、湿地の保全と賢明な利用（ワイズユース）を推進する条約です。単一の生態系に焦点を当てている唯一の地球規模の条約です。



1971年に条約の調印が行われたイランの都市ラムサールにちなんで名付けられたこの条約の締約国は、現在168か国となっています。締約国はこの条約を通して、次のことを積極的に行います。

- 自国にあるすべての湿地を賢明に利用する
- 国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地を登録し、それらの湿地を保全する
- 国境をまたぐ湿地や他国と共有するその他の権益に関して協力する

2015年4月現在、ラムサール条約湿地は2100か所以上にのぼり、その総面積はメキシコの国土よりわずかに大きい2億800万ヘクタールあまりです。ラムサール条約湿地の公式リストは条約のウェブサイトwww.ramsar.orgで公開されています。

ラムサール条約湿地は、その湿地がもたらす生態系サービスと恩恵が、それぞれの国と世界にとって大きな価値を持っていることから登録されています。

湿地とは何か？

ラムサール条約では、「湿地」という言葉は、常時あるいは季節的に、水をたっぷりと含む土地や水に覆われる土地を指します。内陸の湿地としては、帯水層、湖沼、河川、湿原、泥炭地、池、氾濫原、沼沢地などが挙げられます。沿岸域の湿地には、すべての海岸線、マングローブ、塩性湿地、河口、潟湖、藻場、サンゴ礁などが含まれます。

なぜ湿地を大切にしなければならないのか？

昔から不用の地あるいは病気の温床とみなされてきた湿地ですが、実際には、多くの理由から人々にとってなくてはならないものです。

- **真水を供給します**
淡水の湿地は、私たちの日常生活に必要な飲料水や料理、洗濯用の水をもたらす、灌漑用水も供給します。
- **食物をもたらします**
湿地のひとつである水田で栽培される米は、30億近くの人々の主食であり、世界の食糧の20%を占めます。
- **自然の緩衝材です**
河川の流域にある湿地は、自然のスポンジのような働きで雨水を吸収して洪水の影響を緩和し、水を貯えるというこの機能は、干ばつへの備えにもなります。マングローブやサンゴ礁は、高潮のスピードと高さ、津波やハリケーンの衝撃を抑えます。
- **生物多様性にとってなくてはならないものです**
湿地には、現在わかっているだけでも10万種以上の淡水生物が生息しており、この数は今も増加しつつあります。湿地は多くの両生類の生息地として、また、鳥類の繁殖地や渡りの中継地として欠かせません。
- **持続可能な生産とくらしを作り出します**
6億6000万以上の人々が、漁業と水産養殖によって生計を立てています。湿地はまた、建築用材、植物油、薬用植物、織物原料、家畜飼料を供給します。



急速に消えていく湿地

最近の推計では、1900年以来、世界の湿地の64%以上が失われたとされています。湿地の劣化と減少の主な原因には次のようなものがあります。

- 土地利用の大きな変化、特に農地と放牧地の増加
- ダムや水路、運河などによる水の流れの改変
- インフラ開発、特に都市や川の流域、沿岸部における開発

ラムサール条約湿地はどのように登録されるのか？

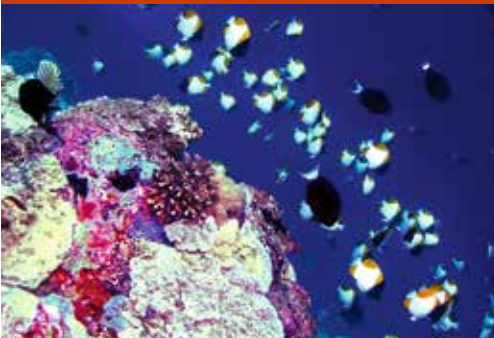
条約の科学的基準を満たす湿地が、その重要性について慎重に検討された上で、各国のラムサール条約の管理当局により、ラムサール条約湿地として登録されます。

ラムサール条約：湿地の減少と劣化を防止・阻止して湿地を回復させるために

ラムサール条約は、締約国、パートナー、国際団体パートナー (IOP) と協力しながら、次のことを行います。

- 湿地に関する問題を組み入れた政策立案や土地利用計画の作成を奨励します
- 湿地がもたらす恩恵やサービスの大切さを人々に伝えます
- ダノン・エビアンやスターアライアンスなどの民間部門と連携して普及啓発への相当な投資を確保します
- 驚くべき速さの湿地の減少と劣化を食い止めるため、民間部門と公共部門の連携を促進します
- 湿地の保全と管理のための資金を調達します

人々の暮らしを支えるラムサール条約湿地



フィリピン トゥバタハ・リーフ自然海中公園

- ラムサール条約湿地かつユネスコ世界遺産に指定されているこの公園では、入園者から環境保護費を徴収し、保護区の管理、禁漁区設置に対する漁業者への補償、地域社会の生活向上プロジェクトのための資金などに活用しています。サンゴ礁の損傷を防ぐため、スキューバダイビングができる区域は限定されます。



ケニア ナクル湖

- ナクル湖はケニアを象徴する観光地のひとつです。毎年24万5000人の観光客がここを訪れますが、そのうちの60%が外国人観光客です。外国人観光客には80米ドルの入園料が課せられますが、ケニア国民にはそれよりも安い11米ドル相当の入園料を設定しています。2010年の総収入は840万米ドル近くにのぼり、公園管理に役立てられました。そして、この中から毎月4万2000米ドルが、地域の保全活動費として還元されています。



アルゼンチン イベラ湿地帯

- 年間およそ1万7000人の観光客がここを訪れているおかげで、コロニア・カルロス・ベレグリニという町に近いラムサール条約湿地周辺では、地域経済が活性化し、環境保護をベースとした観光業が成立しています。これによって新たな雇用と多様な生計獲得手段が生み出されており、地域住民の約90%が観光業で生計を得たり、周辺コミュニティが自然散策路建設や観光ガイド養成にかかわる支援を受けています。

本文書に表明されている見解や名称は執筆者によるものであり、ラムサール条約や条約事務局の公式の見解を表すものではない。教育または非営利の目的での、本文書の全体あるいは一部の複製はいかなるかたちでも、引用元を明示すれば著作権保有者の特別な許可なく作成して構わない。条約事務局は、本文書を引用した印刷物や資料の送付を歓迎する。特に記載のない限り、本文書はクリエイティブコモンズの表示・非商用・改変禁止ライセンスによって保護されている。



ラムサールファクトシートは、ラムサール条約事務局より電子フォーマットおよび必要に応じて印刷物として、英語、フランス語、スペイン語(ラムサール条約の3つの公式言語)で公開されています。

ラムサールファクトシートは次のサイトからダウンロードできます：
www.ramsar.org/resources

科学技術検討委員会 (STRP) に関する情報は次のサイトで見ることができます：

www.ramsar.org/about/the-scientific-technical-review-panel

ラムサールファクトシートに関するさらなる情報や、ファクトシートの執筆者と連絡を取る方法を知りたい場合は、ラムサール条約事務局 (stp@ramsar.org) までお問合せください。

© 2015 ラムサール条約事務局

ラムサール条約



一般にラムサール条約として知られる「国際的に重要な湿地に関する条約」は地球規模の政府間条約で、湿地と湿地資源の保全と賢明な利用のための国内行動と国際協力の枠組みを提供するものです。単一の生態系に焦点を当てている唯一の地球規模の条約です。



湿地：持続可能なくらしの糧

湿地は人の健康と繁栄にとって、なくてはならないものです。湿地は私たちに水を供給し、食料の供給を確保し、生物多様性を維持し、洪水から守り、二酸化炭素を吸収します。世界中の多くの人々の雇用を生み出す湿地は、都合のいいことに世界各地にあり、本当に持続可能なくらしとは何かを示すものとなっています。

10億世帯以上の生計を支える湿地

湿地は世界中できわめて広範な仕事を支えてきました。

- アジア、アフリカ、南北アメリカの10億世帯以上が、おもに米の栽培と加工で生計を維持しています。
- 6億6000万以上の人々が、漁業と水産養殖によって生活しています。商業的魚類のほとんどは、沿岸湿地で繁殖あるいは産卵し、消費される魚の40%は水産養殖によるものです。
- 世界中の旅行者の半数は、湿地のある地域、特に沿岸地域で滞在を楽しんでいると推計されています。旅行・観光業は、世界の雇用の8.9%に当たる2億6600万人の仕事を支えています。
- 世界中の多くの場所で、河川と内陸の水路が、人や物資の運搬に重要な役割を果たしています。アマゾン川流域では、41の船会社によって毎年1200万人の乗客と5000万トンの貨物が運ばれています。
- 数々のネットワークが世界中で淡水を運び、汚水を処理し、同時にかなりの数の労働者を雇用しています。たとえば、バンコクの首都圏水道公社は5300人以上の職員を雇っています。
- ボトル入り飲料水業界は、2013年に700億ガロン（約175億リットル）以上の水を世界中に届けました。ダノンは、エビアン、ボルヴィック、ボナフォンテ、マイゾーンなどの主要銘柄を販売し、世界中にある自社の飲料水業務に3万7000人以上を雇用しています。
- 植物、果物、ヨシ、草の収穫と加工も、特に開発途上国の湿地やその周辺で、かなりの雇用を直接生み出しています。

現状：悪循環

湿地がさまざまな仕事や貴重な恩恵を生み出しているにもかかわらず、1900年以降世界中の湿地の64%が姿を消しました。今も残っている湿地の多くでは深刻な劣化が進み、直接湿地に頼って生活している人々—しかもその多くは極めて貧しい人々—が、さらなる貧困に追いやられています。その上、2025年までに35%の人々が水不足に直面すると推定されています。これは、「湿地(wetland)」は「不用の地(wasteland)」であるという誤解がもたらした結果です。

解決方法：好循環

湿地が飲料水や生物多様性、食料やその他多くの恩恵を常にもたらすようにし、同時に人々が人間らしい生活を送れるようにするという事は、矛盾するものではありません。実際、新たな「国連持続可能な開発目標」では、貧困の削減のためには、湿地などの生態系を守り、再生することが必要であることが強調されています。



持続可能性は、その目標を達成するため、発展の持つ3つの側面を一体化します。

- 経済的發展：人々が自分自身の収入と財産を築くための方法や手段を保証します。
- 社会的發展：社会集団同士の協力、尊重、信頼を促し、男女の平等を推進します。
- 環境保護：人間生活と自然環境がどちらも恩恵を受けるよう、地球生態系を保全し、再生します。

持続可能なくらしを築く方法：重要な要素は何か？

- 1 ニーズを把握するために、人間を中心としたアプローチを利用します
 - 不測の出来事、自然災害、内戦などいかに人々が影響を受けやすく、また、影響を受けにくくするにはどうしたらいいかを調べます
 - 価格と働く機会の重要な季節変動について理解し、別の選択肢がないかどうか探ってみます
 - 将来的に利用可能な資源にはどのようなものがあるか調べてみます
 - 2 さまざまな種類の「資本」を利用できるようにします
 - ヨシ、魚、米などの実際に湿地から収穫できる産物
 - トレードオフや優先順位づけを理解するための技能や知識
 - 3 これらさまざまな「資本」を提供して状況を変化させることができるのは誰かを見極めます
 - 生計を立てることができる良好な健康状態
 - 地元の湿地利用計画に対する声
 - 基本的なインフラ、設備、道具
 - クレジット、現金、マイクロローン
- 3 これらさまざまな「資本」を提供して状況を変化させることができるのは誰かを見極めます
- 行政、公共機関、NGO、地元コミュニティなどの主要な活動主体を一体化させます
 - 状況を変化させるために、誰がどのような役割を果たすのかを決めます

事例紹介：ブラジル

タマールのウミガメプロジェクト

タマールは、ブラジルに生息する絶滅危惧種のウミガメ5種の保護活動をしている組織です。ブラジルの大手石油会社ペトロブラスを主要スポンサーとするこの組織は、世界中の生物保全プログラムのモデルになりました。このプロジェクトの内容は以下のとおりです。

1980年に地元の漁師たちを雇い、彼らがいづも漁を行う海岸にあるウミガメの産卵場所を、産卵期間中にパトロールしてもらったのが始まりです。これによってウミガメとその卵の採取を防止しました。

ウミガメの採餌、産卵、生長にとって重要な場所にある23のセンターのネットワークを作りました。

活動には1300人以上の人々が直接参加し、そのうち約85%が地元の沿岸地域に住む人々でした。その中には漁業者も400人いて、



現場でのさまざまな活動に参加しました。25か所の漁村の人々を雇用し、ビジターセンター業務やショップの店員、ガイド、保護教育活動、販売用のタマール衣料の製造などの仕事に従事してもらいました。

事例紹介：セネガル

持続可能なくらしを確保するためのマングローブの再生

セネガルのカザマンス地域とシヌ・サルーム地域には、今も18万5000ヘクタールのマングローブ河口域が残っています。しかし、1970年代以来、4万5000ヘクタールが失われました。健全なマングローブは、効果的な塩水過システムとして機能し、暴風雨から海岸を守り、魚の稚魚の生育場所にもなります。

ここで、セネガルのNGOオセアニウムと協力関係にあるダノンとライブリフッド・カーボンファンド(Livelihoods Carbon Fund)の支援による、世界最大のマングローブ再植林プロジェクトが進行しています。プロジェクトの内容は以下のとおりです。

1万ヘクタール以上の土地に7900万本のマングローブの木を再植林しました



水田の再生を進めています

エビ、カキ、貝類とともに、年間1万8000トンにのぼる魚類の増産が見込まれています

20年間で50万トンの二酸化炭素を吸収すると考えられる植林を行います

地元の350村から20万人が活動に参加しました

本文書に表明されている見解や名称は執筆者によるものであり、ラムサール条約や条約事務局の公式の見解を表すものではない。教育または非営利の目的での、本文書の全体あるいは一部の複製はかかるかたちでも、引用元を明示すれば著作権保有者の特別な許可なく作成して構わない。条約事務局は、本文書を引用した印刷物や資料の送付を歓迎する。特に記載のない限り、本文書はクリエイティブコモンズの表示・非商用・改変禁止ライセンスによって保護されている。

ラムサールファクトシートは、ラムサール条約事務局より電子フォーマットおよび必要に応じて印刷物として、英語、フランス語、スペイン語(ラムサール条約の3つの公式言語)で公開されています。

ラムサールファクトシートは次のサイトからダウンロードできます：
www.ramsar.org/resources

科学技術検討委員会(STRP)に関する情報は次のサイトで見ることができます：
www.ramsar.org/about/the-scientific-technical-review-panel

ラムサールファクトシートに関するさらなる情報や、ファクトシートの執筆者と連絡を取る方法を知りたい場合は、ラムサール条約事務局(stp@ramsar.org)までお問合せください。

© 2015 ラムサール条約事務局

ラムサール条約



一般にラムサール条約として知られる「国際的に重要な湿地に関する条約」は地球規模の政府間条約で、湿地と湿地資源の保全と賢明な利用のための国内行動と国際協力の枠組みを提供するものです。単一の生態系に焦点を当てている唯一の地球規模の条約です。





よりよい未来のために 泥炭地を乾燥化から守る

泥炭地は地球表面のわずか3%の面積を占めるに過ぎませんが、世界中の森林よりも多くの炭素を貯えています—湿った状態が保たれればですが。

泥炭地には実にいろいろなタイプがあって、世界中のラムサール条約湿地の半数以上は泥炭地を含んでいます。

泥炭地で、賢明な利用が行われないと、炭素を長期間貯蔵しておくという、きわめて重要な機能が損なわれるおそれがあります。

泥炭地の水を抜くと、炭素が排出されたり、肥沃な土壌が失われたりしますし、低地沿岸地域では、深刻な地盤沈下や塩水の流入も招きます。

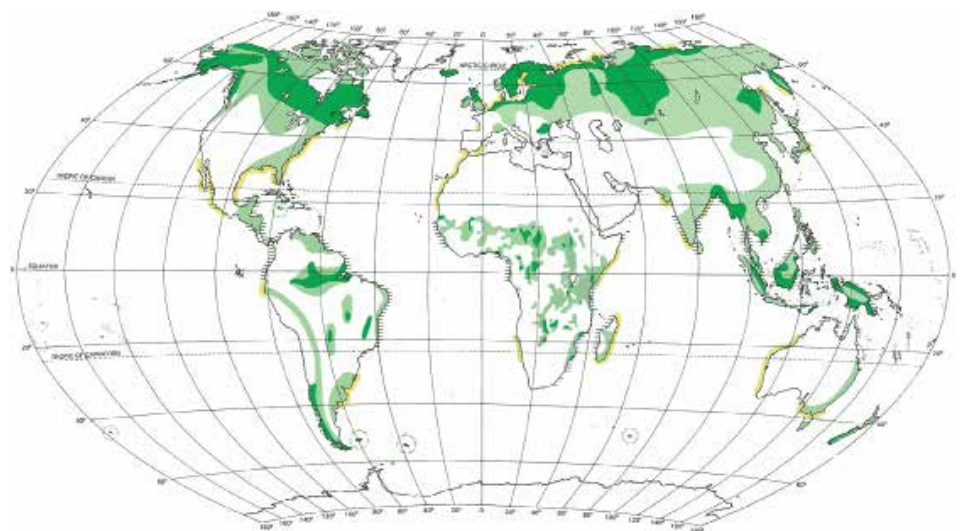
泥炭地

自然のままの泥炭地は、水の存在と特有の植生により特徴付けられます。しばしば深さ数メートル以上にも達する泥炭土は、有機物質と水で構成され、部分的に分解された植物体が堆積することにより形成されます。時に何千年にも亘って

積み重なった泥炭層には、花粉や、考古学的遺物、古代人の遺体などが保存されており、泥炭層は比類のない「過去を覗く窓」になっています。

地球上の炭素貯蔵と気候変動の緩和

泥炭地には、少なくとも、世界中の森林が貯蔵する量の2倍近くに相当する550ギガトンの炭素が固定されていると推計されています。一方で、泥炭地から水が抜かれると大量の二酸化炭素(CO₂)が放出されることになるため、泥炭地の再生は気候変動の緩和にとってきわめて重要です。



地球上のほとんどすべての国に泥炭地が存在します。この地図は、重要な泥炭地の分布を示しています。IPSの寛大な許可を得て、Lappalainen 1996より引用

- 泥炭 5%以下
- 泥炭 5~10%
- 泥炭 陸地面積の10%以上
- マングローブ
- 泥炭のある島
- 泥炭を含むことが多い湾や潟湖



泥炭地の再生のためには、水を含んだ状態に戻し、以前の水の動きを再現しなくてはなりません。そうすれば、残された泥炭土を守りつつ、再び泥炭形成が進むような状態を作ることができます。



1997年にインドネシアの泥炭湿地林で起きた火災では、その年に世界全体で排出された化石燃料由来の二酸化炭素の13~40%に相当する二酸化炭素量が排出されたと考えられています。

私たちすべてに恩恵をもたらす健全な泥炭地

泥炭地は何千年にも亘って炭素を貯えることで気候を調整し、何百万人もの人々に水を供給し、洪水と干ばつを防ぎ、食糧を供給します。同時に、独特の生物多様性も育みます。また、泥炭地には魅力的な観光地の要素が数多くあり、人の心を惹きつけます。

気候変動緩和のためのホットスポットである泥炭地

これまでに水を抜かれた泥炭地は約15%で、これは地球の表面積の0.4%にも届きません。しかし、比較的狭いこれだけの面積から、排出された二酸化炭素量は、人間活動由来の排出量の5%に相当します。これらの地域が再び水を含んだ状態に戻されれば、二酸化炭素の排出も止まります。



泥炭地の再生は、現在、優先的に対処すべき課題として世界各地で取り上げられています。

自然再生の努力は世界中で行われていますが、現在、水を抜かれた泥炭地の再生が注目されています。その目的は、泥炭地の生態系本来の機能が生み出す、二酸化炭素排出抑制などの多様な恩恵を取り戻すことです。

中国 ルオアルガイ高原湿地

広範囲が劣化してしまった黄河源流部にあるスゲ科植物で構成されるこの泥炭地では、ダムなどを使って、泥炭地を再び湿らせ、自然の水の流れと泥炭地の環境を再生しようとしています。

ロシア モスクワ州

2010年に大規模な火事が発生したことを受けて、農業用に排水されたり産業用の採掘が行われた7万3000ヘクタールの泥炭地で、再湿潤化が行われています。

中国、ロシア、インドネシアの事例について、さらに詳しく知りたい場合は、国際湿地保全連合のウェブサイト www.wetlands.org をご覧ください。

スカンジナビアおよびバルト海沿岸地域

何世紀にも渡って排水が行われてきたデンマーク、エストニア、スウェーデン、フィンランドの泥炭地で、現在、水理学と生態学に基づく集中再生プロジェクトが進行しており、林業用に排水が行われた泥炭地2万ヘクタールが再生されました。この地域のすべての国々における泥炭地の範囲と排出量に関する調査が、北欧閣僚理事会の支援で行われ、次のウェブサイトで見ることができます。
www.norbalwet.org

インドネシア 中部カリマンタン

民間の炭素基金の財政支援を得て、カティンガン地区の泥炭地10万8000ヘクタールで、期限60年の生態系再生権が成立しました。ここは、オランウータンの大きな個体群が生息する生物多様性豊かな場所です。排水溝の閉鎖、伐採の中止、植生の再生などにより再生が行われています。また、地元コミュニティによって、地域の泥炭湿地に自生する植物を利用した、栽培農業が試行されています。

本文書に表明されている見解や名称は執筆者によるものであり、ラムサール条約や条約事務局の公式の見解を表すものではない。教育または非営利の目的での、本文書の全体あるいは一部の複製は、いかなるかたちでも、引用元を明示すれば著作権保有者の特別な許可なく作成して構わない。条約事務局は、本文書を引用した印刷物や資料の送付を歓迎する。特に記載のない限り、本文書はクリエイティブコモンズの表示・非商用・改変禁止ライセンスによって保護されている。



ラムサールファクトシートは、ラムサール条約事務局より電子フォーマットおよび必要に応じて印刷物として、英語、フランス語、スペイン語(ラムサール条約の3つの公式言語)で公開されています。

ラムサールファクトシートは次のサイトからダウンロードできます：
www.ramsar.org/resources

科学技術検討委員会 (STRP) に関する情報は次のサイトで見ることができます：
www.ramsar.org/about/the-scientific-technical-review-panel

ラムサールファクトシートに関するさらなる情報や、ファクトシートの執筆者と連絡を取る方法を知りたい場合は、ラムサール条約事務局 (strp@ramsar.org) までお問合せください。

© 2015 ラムサール条約事務局

ラムサール条約



一般にラムサール条約として知られる「国際的に重要な湿地に関する条約」は地球規模の政府間条約で、湿地と湿地資源の保全と賢明な利用のための国内行動と国際協力の枠組みを提供するものです。単一の生態系に焦点を当てている唯一の地球規模の条約です。